

公益社団法人 日本臨床細胞学会
平成 27 年度(2015 年度)第 3 回理事会議事録

日 時：平成 27 年 11 月 21 日(土) 7 時 20 分～9 時 50 分
場 所：名古屋国際会議場 第 10 会場 会議室 234(2 号館 3F)

役員総数： 40 名 (理事 40 名, 監事 3 名)

出席総数：理事 36 名

(理事長) 青木大輔 (理事) 紀川純三, 越川卓, 植田政嗣, 佐藤之俊, 池田徳彦, 石井保吉, 伊藤仁, 井上健, 榎本隆之, 岡本愛光, 小田瑞恵, 加来恒壽, 加藤久盛, 河原栄, 川本雅司, 小西登, 小松京子, 齋藤豪, 生水真紀夫, 白石泰三, 竹島信宏, 寺本勝寛, 内藤善哉, 長尾俊孝, 中村直哉, 平井康夫, 広岡保明, 藤井多久磨, 前田一郎, 森井英一, 森谷卓也, 八重樫伸生, 山城勝重, 横山繁生, 横山正俊

(監事) 佐々木寛, 長谷川壽彦

(総務委員会幹事) 柿沼廣邦, 垣花昌俊, 富永英一郎, 星利良, 町田知久, 丸田淳子, 山下博

(細胞診専門医会会長) 土屋眞一

(制度審議委員陪席) 平田哲士

欠席者：(理事) 伊藤潔, 稲山嘉明, 落合和彦, 羽場礼次

(監事) 長村義之

(総務委員会幹事) 所嘉朗

議長選出の議：本学会定款第 33 条に則り, 池田徳彦総務委員長が議長となった。

議長は定款第 34 条に則って, 理事総数の過半数(36 名)の出席により定数を満たしたので本法人の理事会が成立した旨を述べた。

議事録署名人選出：定款 35 条に則り, 議事録署名人は理事長並びに監事 3 名とすることが確認された。

理事長挨拶：青木大輔

第54回平成27年(2015年)秋期大会会長挨拶：越川卓大会長

1. 理事長報告：青木大輔

1) 平成 27 年度・28 年度の委員会構成について

先般の理事会にて各委員会の委員長を決定し, その後, 先生方に大変お世話になり,

各委員会の委員を決定させて頂いた。委員の決定については重複等の種々の問題が生じ調整がいつも難航するが、先生方にご協力いただき委員会構成を決定することができた。

2) 事務局との連携について

本学会が順調に活動を行っていくためには事務局の存在は大変大きいと認識している。しかし、以前より事務局との意思疎通の悪さが問題となっており、委員会との意思疎通を良好にしたい。このため、各委員会担当の事務局員を明確にし、第3回理事会資料として各担当一覧を配布した。各担当の事務局員が各委員会委員長の先生と対になり情報が事務局に伝わるようにして頂きたい。

3) 専門医制度について

専門医制度については本学会にとって大変なことであり、植田副理事長を中心に細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループを立ち上げ、勢力的に活動をして頂いている。ワーキンググループでは制度設計をして頂いているという認識である。制度が変わると運用も変わり、色々なところに歪みがでてくることが予想される。問題点が生ずることがあれば、各委員会の委員長の先生方に是非調整をして頂ければと思っている。

4) ホームページの改修について

前回の理事会でも申したように、会員とのコミュニケーションをもっと活発にしたいが、本学会のホームページについては、なかなか良いものが出来ずにいた。このため、伊藤情報処理委員長と事務局に出向き、検討・審議し、おおよその方向性を詰めてきた。この詳細については後ほど伊藤委員長より報告して頂く。是非とも良いものが出来ることを願い、学会の大切なツールとして活用していきたいと思っている。

5) マイナンバーについて

来年の1月1日からマイナンバー制度となる。このため、本日、取り扱いについて早急にご了解を頂きたく資料を用意した。後程、議論して頂きたい。

2. 副理事長報告

紀川純三：学術、編集、国際交流、IACを担当する。学術担当の副理事長として、今後、秋期大会と春期学会との整合性、あり方を検討していきたい。

越川 卓：認定試験、検査士、教育を担当する。現在の活動状況に関しては、各委員会委員長の報告をもって、ご了解して頂きたい。

植田政嗣：専門医制度、専門医を担当する。今後、どのように細胞診専門医制度を改革・推進していくかが問題となっている。専門医制度は日本専門医機構の要請に基づいて改革していかなければならない。現在は、従来から認定されていた基盤学会の19学会と、サブスペシャリティ学会の29学会が再承認を受けている。それらの承認後、本学会が筆頭に挙げられており、来年の10月頃

には本学会が認証されると予想される。それまでに、本学会が認定されやすい状態に運用面も含めて整備していかなくてはならない。細胞診専門医会のあり方委員会、細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ、細胞診専門委員会、施設認定制度委員会と協力して整備を進めていき、この1年間で認証される方向へ努力していきたいと思う。

佐藤之俊：総括、財務、渉外を担当する。現在の各部門の進捗状況については、各委員会委員長の報告をもって、ご了解頂きたい。学会の基本的な部分を遂行していくので、今後ともよろしく願致します。

3. 平成 27 年度総務庶務報告（池田徳彦 総務委員会委員長）

全会員数：12,113名（医師会員 4,649名、技師会員 7,437名、図書会員 27件）

細胞診専門医数：実数 2,746名（認定数 3,262）

F I A C：105名 M I A C：38名

細胞検査士数：実数 7,300名（認定数 9,151）

C T（I A C）：4,826名

物故会員（2015年10月30日現在）

（正会員）

名誉会員 滝 一郎 先生

功労会員 井上 正樹 先生（金沢大学医学部 産婦人科）

日浦 昌道 先生（(医)団仲会 奥島病院 婦人科）

丸山 雄造 先生

医師会員 恵良 一郎 先生（球磨郡公立多良木病院 産婦人科）

（準会員）

細胞検査士 大嶋 洋一 殿（(株)エスアールエル沼津ラボラトリー）

伊藤 幸子 殿

千葉 暢子 殿（東邦大学医療センター大森病院 病院病理部）

松本 律男 殿（熊本市立熊本市民病院 臨床病理科）

黙禱

4. The 19th International Congress of Cytology（略称：ICC2016）準備状況：（青木大輔理事長）

会期：2016年5月28日（土）～6月1日（水）（5日間）

場所：神奈川 パシフィコ横浜

5. 第57回平成28年（2016年）春期大会準備状況：（青木大輔理事長）

会期：2016年5月27日（金）、28日（土）、29日（日）

場所：神奈川 パシフィコ横浜

第19回 IAC 国際細胞学会（ICC2016）と合同開催

6. 第 55 回平成 28 年(2016 年)秋期大会準備状況：(横山繁生理事)

会期：2016 年 11 月 18 日(金), 19 日(土)

場所：大分 B-ConPlaza (別府国際コンベンションセンター)

7. 第 58 回平成 29 年(2017 年)春期大会準備状況：(植田政嗣副理事長)

会期：2017 年 5 月 26 日(金), 27 日(土), 28 日(日)

場所：大阪 大阪国際会議場

8. 第 56 回平成 29 年(2017 年)秋期大会準備状況：(加来恒壽理事)

会期：2017 年 11 月 18 日(土), 19 日(日)

場所：福岡 福岡国際会議場

9. 各種委員会での議事の経過概要および議決結果

総務委員会 (委員長 池田徳彦)

[報告事項]

1. 平成 27 年度・28 年度の委員会構成を調整・完成させ理事へ配布した。
2. 日本医学会からの連絡事項をホームページへアップロードし、理事に周知した。
3. 一般社団法人シンクパールの活動に後援許可した(金銭的サポートでは無く名義のみ)。
4. マイナンバー制度の扱いについて
各会員のマイナンバーを学会が把握していかなければならない。この会員のマイナンバーの管理に関する事、個人情報取り扱い規定、特定個人情報の適正な取り扱いに関する基本方針、マイナンバーを取り扱う外部者と事務局との契約内容等については、今後、中田会計事務所、理事長、各関係委員会と相談し、決定していく。

[審議事項]

1. 地域連携組織のホームページ等での学会マークの使用許可について
地域連携組織等にて学会マークを使用する際は使用許可を事前に事務局にすることが提案され、承認された。
2. 口腔細胞診ワーキンググループの経費について
口腔細胞診ワーキンググループの活動は終了しているが、活動報告の論文化についての費用を本学会が負担することが提案され、承認された。
3. 喀痰細胞診に関する日本肺癌学会とのワーキンググループに関して
資料に沿って、これまでのワーキンググループの活動内容およびメンバー構成についての説明があり、ワーキンググループの継続とそのメンバー構成、およびワーキンググループの合同研究の成果についての日本臨床細胞学会誌への掲載が承認された。
4. 会員資格復帰希望者について
会員資格の復帰希望者が 6 名おり、いずれも免許停止前の滞納年会費の完払と理事長の承諾という内規上の基準をみたしており、希望者全員の会員資格復帰が承認され

た。

5. 細胞学会事務局の電話回線の増線について
事務局への連絡が円滑に行われるように電話回線を 5 回線にすることの提案およびその工事費用についての説明があり、承認された。

情報処理委員会（委員長 伊藤仁）

〔報告事項〕

1. 学会 HP の改修が完了した。
2. 2015 年 9 月 1 日よりマイページが始動した。
3. マイページのログイン率は 2015 年 10 月 29 日現在で 28.43%である。
4. 私的な情報開示請求があったが、理事長判断により対応はできないという結果となった。
5. 10 月 26 日（月）に細胞学会事務局において、青木理事長、山下幹事、池上事務長とリニューアルされた HP の検証を行った。その結果、HP のデザイン・項目名・項目に含まれる内容など全体的に大幅な修正が必要との指摘をうけ、現在再検討中。その費用についても見積もりを要請中である。
6. 英文 HP については、2015 年 10 月中に準備を終了させ、11 月公開を目標に進めていたが、5 の再検討とともに検討中である。

〔審議事項〕

1. 再修正に関する費用について
HP の再修正に関する費用の見積もりが資料に沿って説明され、承認された。
2. 情報処理委員会からの積極的な情報メール発信について
本学会の up to date な情報が得られるよう、情報処理委員会にて定期的に HP 内容についてチェックし、さらに雑誌発刊、関連学会情報など様々な情報をメールで積極的に発信していくことが青木理事長より提案され、承認された。

学術委員会（委員長 内藤善哉）

〔報告事項〕

1. 学会賞・技師賞・班研究課題の選考について
 - 1) 学会賞・技師賞・班研究課題の応募について、イエローページおよびホームページに掲載した（応募締切：2015 年 7 月 8 日（水））。
 - 2) 10 月 1 日（木）学術委員会選考会を開催し、規定に則り慎重に選考を行った。結果は施行細則に則り、理事長に報告された。

選考結果

学会賞（応募者 2 名）：医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 佐々木寛氏

技師賞・学術部門（応募者 2 名）：東海大学医学部付属東京病院 病理診断科

松井成明氏

技師賞・功労部門（応募者1名）：日本医科大学多摩永山病院 病理診断科
片山博徳氏

班研究課題（応募者2編）：該当者無

以上の推薦候補者はすべて承認された。

2. 最優秀論文賞の応募について

11月頃よりイエローページおよびホームページにて応募要項を掲載予定。

応募期間は2016年1月中旬から2月中旬を予定している。

3. 各種選考に関し、規定以外の具体的な選考方法などにつき内規を作成することとなった。

〔審議事項〕

特になし

計理委員会（委員長 岡本愛光）

〔報告事項〕

1. 次年度開催される学術集会事務局へ準備金の送金を行った。

1) 第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会） 680万円

2) 第55回日本臨床細胞学会秋期大会 510万円

2. 第19回 IAC 国際細胞学会用に積み立てていた定期預金を解約し、大会事務局へ準備金2,000万円の送金を行った。

3. 2015年11月2日秋の監査会を行い、第56回総会（春期大会）の決算報告について確認を行った。学術集会の決算書類提出期限については検討中である。

4. 学術集会会計について、勘定科目が最初からわかるようにしてほしいとの希望があった。今後、予算・決算報告用のひな形を大会事務局に送付する予定である。

5. 事業の収支報告

学会全体の運営について、管理部分が赤字となっており、事業の黒字をもって全体の収支が少額の赤字（または収支金額が同じ）となっている。

事業については赤字事業もあり、今後内容の確認を行い、会場費など経費削減が出来る箇所の努力を行うようにする。経費削減をしても赤字の場合は、受講料等の値上げについても考える予定である。

6. 報酬等の支給及び支出基準

「報酬等の支給及び支出基準」についての内規中に、試験等での連泊時に支払う食事代等の規定が決められていない。今後、これらの金額等をどのようにしていくか、規定を追加していく予定である。

〔審議事項〕

特になし

編集委員会（委員長 竹島信宏）

〔報告事項〕

1. Acta Cytologica

特定非営利時代より、カルガージャパンという会社を通し Acta Cytologica を 2 冊購入。（各¥140,146 合計¥280,292）

1 冊：日本医学会へ寄与 1 冊：学会事務局で保管

年間購読費用の削減とスペースの減少により事務局分の Acta Cytologica の購入中止。

※日本医学会との取り決めで製本版を 1 冊寄与することになっている。

2. 投稿論文（2015 年 9 月 18 日時点）

調査対象期間

2014 年投稿論文：113 2015 年投稿論文：61

採用率

2014 年投稿論文：73.5% 2015 年投稿論文：29.5%

3. 査読委員の見直し作業の実施。

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会製本版の編集委員への配布について

編集委員に配布する年間の製本費用の見積もりが資料に沿って提示され、審議した結果、編集委員への製本版の配布は行わないこととなった。

2. 日本臨床細胞学会雑誌の電子化に伴う ID およびパスワードの設定について

現段階では 2015 年以前の学会誌は無料で閲覧できる。2015 年以降の学会誌についての ID およびパスワードの必要性を審議した結果、それらの設定については編集委員会に一任することとなった。

3. 評議員の査読義務について

次期からの評議員就任の条件に査読義務を入れることの提案、それに対する評議員における施行細則の改定案が提示され、いずれも承認された。ただし、査読を行うことに対するインセンティブについては、今後の検討・審議事項となった。

4. 図書会員についての取り決めについて

本誌の電子化に伴い、図書会員の会費の改定が提案され、減額にする方向にて検討し、審議することとなった。

細胞診専門医委員会（委員長 齋藤豪，植田政嗣副理事長）

〔報告事項〕

1. 平成 27 年度細胞診専門医資格認定試験

1) 細胞診専門医資格認定試験日時および場所：2015 年 11 月 29 日（日） AP 浜松町
第 54 巻 2 号から 4 号イエローページならびにホームページにて公告

申請期間：2015 年 8 月 1 日～8 月 31 日

- 2) 9月27日(日)に受験資格審査会を行い、受験予定者125名(総合科116名、歯科口腔科9名)を決定した。
 - 3) 細胞診専門医資格認定試験実施要項について
当初、昨年に引き続き解答用紙もOCR(光学文字認識)を使用する予定だったが、マークシート方式に変更した。さらに、遅刻入室不可の記載を加えた案内を受験生へ封書とマイページで周知徹底した。
2. 細胞診専門医資格更新について
現時点における細胞診専門医資格更新は資格取得後4年ごと
平成27年度の資格更新対象者：専門医番号0684-0773, 1102-1170, 1387-1446, 1647-1710, 2029-2159, 2477-2577, 2850-2961
第54巻2号からイエローページならびにホームページにて公告
 3. 平成27年度第2回理事会にて承認された細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループを発足した。

〔審議事項〕

1. 日本臨床細胞学会教育研修認定施設再構成について
日本専門医機構の要請の1つに、「各地域において基幹施設と連携施設とを設け、基幹施設の周囲に連携施設を配置し、研修施設部門を形成すること」とある。このため、現在の305の日本臨床細胞学会教育研修認定施設を癌診療連携拠点病院か否かにより、172の基幹施設と133の連携施設に分けることが提案され、詳細に審議した結果、その方向性で整理していくことが承認された。
2. 細胞診専門医資格更新制度改革について
資料に沿って細胞診専門医資格更新制度案およびそれに関する施行細則案が提示され、承認された。また、この細胞診専門医資格更新制度は、平成27年度資格取得者および更新者から実施していくことが承認された。
3. E-learningシステムについて
資料に沿って、E-learningシステムの実施方法の検討結果について報告があった。E-learningを希望する専門医が、「マイページ」から申し込んで事務局から送付されるDVDを聴講し回答を返送する方法が提案され、承認された。

施設認定制度委員会(委員長 長尾俊孝)

〔報告事項〕

1. 委員会内構成について
教育認定施設WG, 施設認定・年報WG, 外部精度管理WG, 内部精度管理WG, の4WGで構成される。
2. 平成27年度教育研修施設新規申請について
9施設を審査後認定し、認定証を発送した。

徳島市民病院，鳥取市立病院，鳥取大学医学部附属病院，兵庫県立がんセンター，大分県立厚生連鶴見病院，医療法人社団こころとからだの元氣プラザ，国保直営総合病院君津中央病院，和歌山県立医科大学附属病院，順天堂大学医学部附属浦安病院
結果は日本臨床細胞学会雑誌第 54 巻第 5 号イエローページに会告として報告予定。

3. 平成 26 年度新規認定施設申請について

8 施設を審査後認定し，認定証を発送した。

J A 山口厚生連周東総合病院，地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立広島市民病院，東京医科歯科大学医学部附属病院，社会医療法人杏嶺会一宮西病院，医療法人沖繩徳洲会湘南鎌倉総合病院，医療法人藤井会石切生喜病院，社会医療法人敬和会大分東部病院，神戸赤十字病院

結果は日本臨床細胞学会雑誌第 54 巻第 5 号イエローページに会告として報告予定。

4. 平成 26 年度年報提出状況（提出締切 2015 年 3 月 31 日）

全 863 認定施設中 提出済 804 施設（93%） 未提出 41 施設（5%） 廃止 18 施設（2%）

5. 内部精度管理（実地調査）について

内部精度管理 WG（山城勝重 WG 長）のもとで，3 施設を対象として実施（2015 年 9 月～10 月）。調査の結果，1 施設が B 評価となったが，いずれの施設も細胞診業務に意欲的であり，施設認定を継続する予定である。

6. 認定施設更新業務

平成 26 年度認定施設更新 対象施設 684 施設

更新可 556 施設（81.3%） 更新可として新認定証を送付済。

未完了 21 施設（3.1%）理由：年報未提出、更新料未納、未申請 91 施設（13.3%），更新辞退認定廃止 16 施設（2.3%）

7. 教育研修施設更新業務

平成 27 年度教育研修施設更新 対象施設 5 施設

更新可 5 施設（100%） 更新可として新認定証を送付済。

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士委員会（委員長 加藤久盛）

〔報告事項〕

1. 平成 27 年度（第 48 回）細胞検査士資格認定試験

総受験者：679 名（うち 108 名は 1 次試験免除），1 次試験志願者：572 名。

1 次試験（2015 年 10 月 31 日（土） CIVI 研修センター新大阪東にて実施）

2 次試験（2015 年 12 月 12 日（土）および 13 日（日）東京富士大学にて実施）

2. 平成 27 年度細胞検査士試験問題作成委員会

3 回の委員会を開催し，筆記試験および細胞像試験の問題を作成した。

3. 平成 27 年度 CT(IAC)資格認定試験
2015 年 6 月 28 日(日) AP 浜松町において実施.
受験者：139 名 (志願者 142 名, うち 3 名欠席) 合格：139 名(100%).
認定証は 10 月末日までに全員発送済み.
4. 2015 年 CT(IAC)資格更新審査
2015 年 CT(IAC)の資格更新審査の結果, 1867 名の CT(IAC)が資格を更新した.
ただし, 現在, 270 名近くの資格更新未完了者がおり, 早急に対応を行っている.
5. 細胞検査士資格更新期間の 4 年から 5 年への変更については検討中.
6. 細胞検査士認定試験の受験願書において分かり難い項目がいくつかあるため, 次回の受験生までには分かりやすく出来るように修正を行っている.

〔審議事項〕

特になし

細胞検査士資格更新審査委員会 (委員長代理 加藤久盛理事)

〔報告事項〕

1. 平成 26 年度 細胞検査士資格更新者 (ブルー・カード)
全更新対象者数：1894 人
更新完了者：1770 人 (93.6%) 条件付き更新完了者：30 人
未申請：27 人 更新辞退・退会者：57 人
更新未完了者：10 人 (会費振込み等の確認途中)
2. 平成 27 年度 細胞検査士資格更新対象者メンバー (ピンク・カード)
1830～2067. 2693～2912. 3667～3931. 4726～4941. 5619～5812. 6365～6573
7209～7449. 8159～8317
更新予定者：1510 人
※平成 28 年 2～3 月に更新審査予定
※震災に遭った方は自己申告での申請も可能とし, 出来る限り救済する.
3. 細胞検査士資格更新期間の 4 年から 5 年への変更については検討中.

〔審議事項〕

特になし

教育委員会 (委員長 八重樫伸生)

〔報告事項〕

1. 平成 27 年度講習会およびセミナー

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第 124 回細胞検査士養成講習会	平成 27 年 7 月 6-18 日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁

第40回細胞診断学セミナー	平成27年8月6-9日	日本教育会館 教育委員長
第69回細胞検査士教育セミナー	平成27年8月29-30日	日本教育会館：がん研有明病院・古田則行
第70回細胞検査士教育セミナー	平成27年9月5-6日	神戸新聞松方ホール (株)共同病理・小川隆文
第70回細胞検査士ワークショップ	平成27年7月18-19日	東海・北陸ブロック：福井県立病院 水野 幸恵(CT) 講義：福井県立病院講堂、 鏡検実習：福井大学医学部 基礎実習棟病理実験室
第71回細胞検査士ワークショップ	平成28年3月12-13日	九州ブロック：福岡大学筑紫病院 南部 雅美(CT) 福岡大学メディカルホール

2. 平成28年度決定済み講習会およびセミナー

講習会	開催日	開催地・実施委員長
第125回細胞検査士養成講習会	平成28年7月4-16日	東京医学技術専門学校：東海大学医学部・伊藤 仁
第41回細胞診断学セミナー	平成28年8月4-7日	東京医学技術専門学校・教育委員長
第71回細胞検査士教育セミナー	平成28年8月27-28日	日本教育会館：片山 博徳
第72回細胞検査士教育セミナー	平成28年9月10-11日	松下IMPホール：矢羽田 一信
第72回細胞検査士ワークショップ	平成28年7月23-24日	札幌医科大学：田上 稔

3. セミナー・ワークショップ開催の手順案(事務局案)を作成中.

セミナー・ワークショップ受講者に対する実施要項を以下の如く作成した.

1. 申し込みフォームから行う.
2. 受付の可否は「マイページ」とホームページに掲載する.
3. 受講料の振込口座は「マイページ」から通知するので、「マイページ」を必ず閲覧すること.
4. 受講票と領収書は郵送する.
5. 条件
 - (1) 振込み後の返金を行わない.
 - (2) 振込時に備考として氏名, 会員番号を必ず記載すること.
 - (3) 振込期限内に振り込まれない場合はキャンセルとする.
期限後の振込は手数料を差し引いて返金する.

- (4) 振込はひとりひとり振り込むこと。

職場の支払などで複数人分を振り込むときは、郵便局の振り込み用紙またはゆうちょ ATM のコメント入力で会員番号、氏名を全員分記載すること。

都市銀行など、コメント入力できない場合は複数人の振込は行わないこと。

- (5) 非会員の申し込みは申し込みフォームの備考に必要事項を記載すること。
- (6) 天然災害などで中止または参加不可能の場合の対応は随時ホームページに記載するので確認すること。

〔審議事項〕

1. 青木理事長より、専門医に対する IAC 資格認定試験受験についての情報提供の機会を細胞診断学セミナーやその他の講習会等で設けて欲しいとの要望があり、検討事項となった。

渉外・広報委員会（委員長 加来恒壽）

〔報告事項〕

1. 一般財団法人医療関連サービス振興会

- 1) 衛生検査所専門部会委員として加戸申明氏を推薦した。

衛生検査所調査指導中央委員会 2015年9月4日(金)に会議があり、副委員長として出席し、地区委員会の報告に基づき基本審査を行った。また、調査指導に係る事項についての審議を行った。

- 2) 医療関連サービスマーク（衛生検査所業務）チェックリスト改定に係るワーキンググループ委員の任期延長依頼があり、2015年7月1日から12月31日までの延長を担当していた上野喜三郎氏にお願いしている。

2. 日本臨床検査標準協議会

7月29日に開催された JLAC 技術情報セミナーに出席した。

3. その他

他学会との会議に出席をし、情報収集に努める予定。先日は日本癌治療認定機構セミナーの見学、およびその会議に出席した。

〔審議事項〕

特になし

社会保険委員会（委員長 稲山嘉明）

〔報告事項〕

1. 8月3日、厚労省ヒアリングに参加し、セルブロック法と細胞診免疫染色の重要性を訴えた。

2. 9月3日、環境省石綿健康被害対策室室長と面談し、上記2件の要望実現に向けての協力を依頼した。

〔審議事項〕

特になし

地域連絡委員会（委員長 広岡保明）

〔報告事項〕

1. 平成26年度支部・連合会活動報告および定点観測について報告書提出の案内を平成28年1月より開始予定。
2. 平成27年度の「子宮の日」の子宮頸がん検診推進活動支援について活動支援の希望地域は3月末日までに企画書提出を依頼した。申請件数39件。実施内容を提出した地域学会へ5万円の支援を行う。実施内容提出および支援件数29件（平成27年9月15日現在）。残り10件の地域学会は実施内容書類の提出待ちである。

〔審議事項〕

特になし

国際交流委員会（委員長 森谷卓也）

〔報告事項〕

1. 2 国間交流
 - 1) 第14回 日-韓細胞診合同会議
開催日：2015年11月7日（土）
開催地：麗水（ヨス）
 - 2) 第6回日中細胞診合同会議は開催に向けて日程等調整中。
 - 3) 第23回 日-タイ 細胞診ワークショップ
開催日：2016年1月20日（水）～22日（金）
開催地：チェンライ
2. 国際・アジアフォーラム（Global Asia Forum）
 - 4) 第54回日本臨床細胞学会秋期大会（会長 越川 卓）
開催日：2015年11月21日（土）-22日（日）
開催地：名古屋
3. IAC 関連
 - 5) Australian society of cytology (ASC)
45th Annual Scientific & Business Meeting
16-19. October 2015 Brisbane Australia
 - 6) European congress of cytology (ECC)

39th European Congress of Cytology (ECC)

23-26. September 2015 Milan Italy

Congress President Dr. Luigi Di Bonito

〔審議事項〕

特になし

制度審議委員会（委員長 川本雅司）

〔報告事項〕

1. 理事会，総会承認に基づく定款，細則改定の実施.
2. 最新の定款・施行細則をHPに掲載した.

〔審議事項〕

1. 平成27年度第2回理事会時の議題であった学術集会収支報告に関する施行細則の制定案が資料に沿って提示され，承認された.
2. 会員種別変更と会費請求に関わる事務手続きに関する内規の制定案が資料に沿って提示され，承認された.
3. 評議員選任に関する施行細則改定案（査読委員就任承諾を条件とすることについて）が資料に沿って提示され，承認された.

医療安全委員会（委員長 森井英一）

〔報告事項〕

1. 第56回春期大会にて，医療安全セミナー「施設における細胞診の医療安全対策」を行った.
2. 第54回秋期大会，第57回春期大会でのセミナーについての企画を行った.
3. 医療事故調査等支援団体として本学会を登録することとなった.

〔審議事項〕

特になし

倫理委員会（委員長 河原栄）

〔報告事項〕

1. 倫理にかかわる教育セミナーを本第54回秋期大会で開催する手配を行った（医療安全との共同開催）.
2. 第57回（2016年）春期大会にて，倫理委員会指定セミナーとして黒木登志夫先生による「科学研究における不正の防止対策（仮）」を企画した.

〔審議事項〕

特になし

利益相反委員会（委員長 藤井多久磨）

〔報告事項〕

1. 本年度のCOI自己申告書の提出手続きを行った。
2. COI自己申告書の様式、タイミング等について通信委員会にて討議し改定案をまとめた。

〔審議事項〕

1. COI細則の改定案について
第1回常務理事会にて理事会での審議事項となったCOI細則の改定案が資料に沿って提示され、承認された。また、改定したCOI細則は、来年度（2016年4月1日）から実施することが確認された。

臨床試験審査委員会（委員長 中村直哉）

〔報告事項〕

1. 委員会のメンバーが決定し、これから臨床試験審査を随時行っていく。

〔審議事項〕

特になし

IAC連絡委員会（委員長代理 青木大輔理事長）

〔報告事項〕

1. IAC Examination
2015年6月28日(土)に施行。
CT(受験者 139名 欠席者 3名)：合格者 139名
Cytopathologists (受験者 5名 欠席者 0名)：合格者 4名 不合格 1名
2. ICC Yokohama 2016の日程をLocal committeeとIACとの間で調整を行った。
IACの式典、プログラムなどの詳細を決定する作業に入っている。
3. 2015年9月20日(日)よりミラノで開催されたThe 39th European Congress of Cytology (ヨーロッパ細胞学会 ECC 2015) 会期中のIAC理事会においてICC2016の進捗状況を報告した。また、会期中にICC 2016のプロモーション活動を実施した。ICC2016への関心が高まり多くの参加者が期待される。
4. 本委員会はICC2016の成功にIACとのLiaisonとしてIACとJSCCとの連絡を密にしてゆく。
5. ICC2016会期中の5月28日にIAC Examinationも行われる予定である。

〔審議事項〕

特になし

第19回 IAC 国際細胞学会準備委員会（委員長 青木大輔）

[報告事項]

1. 会議概要

Key Dates

Abstract submission start	September 10th, 2015
Abstract submission deadline	December 10th, 2015
Early bird registration deadline	April 15th, 2016
Hotel reservation deadline	April 28th, 2016
Late registration deadline	May 19th, 2016
Opening of the Congress	May 28th, 2016

HP <http://www.cytologyjapan2016.com/>

2. 日本学術会議との ICC2016 の共同主催について

以前より交渉を行っていた日本学術会議との ICC2016 の共同主催が決定。
イエローページ 54 巻 4 号で周知を行った。

3. 参加費用について

資料の如く参加費用を設定した。

4. 学術プログラムについて

資料の如くプログラム案、日程表案、市民公開講座を設定した。なお、KAZUMASA MASUBUCHI AWARD 2016 に長谷川壽彦監事が、INTERNATIONAL CYTOTECHNOLOGIST OF THE YEAR AWARD 2014/2015/2016 に伊藤仁理事が受賞し、IAC AWARD Lecture を行うことが決定している。

5. プロモーションについて

海外ブース出展

2014 年 9 月 38th European Congress of Cytology 2014 (ECC2014) @スイス

2014 年 10 月 XXXth Congress of the International Academy of Pathology 2014
(IAP2014) @タイ

2015 年 9 月 39th European Congress of Cytology 2015 (ECC2015) @イタリア

6. 前日理事会について

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー（最寄駅：桜木町駅）

[審議事項]

1. ICC2016 および第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）の参加における単位について

ICC2016 と第 57 回春期大会に参加および発表した場合は、各々に単位を認定することが提案され、承認された。

尿細胞診新報告様式解説書刊行ワーキンググループ（委員長 白石泰三）

〔報告事項〕

1. 泌尿器細胞診の報告様式の解説書作成について、2015年8月2日に福岡市で会議を行った。作成した解説書は近日中に会員に配布予定。受け取れなかった会員のため、HPの掲載を予定している。
2. 第54回秋期大会中にて開催される細胞診セミナーにて尿細胞診の新報告様式についての解説を行う。

〔審議事項〕

特になし

細胞診ガイドライン作成ワーキンググループ（委員長 内藤善哉）

〔報告事項〕

1. 細胞診ガイドラインは全5巻。現在、第1巻、第2巻、第4巻は発刊済。今後の発刊予定は、第5巻は10月末、第3巻は11月20日（第54回秋期大会）を目標に進めている。
2. 本ガイドラインの全刊発行が終了した時点で、WGを終了する。
3. 東京医学社『腎と透析』編集部より、細胞診ガイドライン1 婦人科・泌尿器2015版について、転載許諾のお願いが届いている。また、医学出版などからも転載依頼があった。
4. 細胞診ガイドラインの転載については、青木理事長と相談し、金原出版の転載規程に則り、対応する方針である。
5. 細胞診ガイドライン第5巻（最終巻）に全執筆者のCOI開示を掲載予定。

〔審議事項〕

特になし

臨床試験ワーキンググループ（委員長 寺本勝寛）

〔報告事項〕

1. 「一般住民を対象とした子宮頸がん検診における液状化検体細胞診とHPV DNA 検査との併用法の有用性を評価する前向き無作為化比較研究」（山梨県、千葉県柏市）
 - ・平成27年度以後は7年間の追跡調査に入る。2015年春、研究登録した被験者への検診の受診勧奨を行った。精密検査対象者の内、未受診者の調査を検診実施医療機関に依頼した。
2. 「子宮頸癌疑い患者及び検診受診者を対象としたLC-1000の有用性に関する臨床試験」
 - ・シスメックス社との契約を締結した。
 - ・集中検査機関（株式会社エスアールメディサーチ）との業務委託契約確認中。
 - ・久留米大学データセンターとの業務委託契約を締結済、及びWebデータ報告システム

の構築中。

- ・大阪がん循環器病予防センターにて倫理審査委員会の承認済
- ・東京都予防医学協会，慶應義塾大学での倫理審査委員会申請の準備中

〔審議事項〕

特になし

頸部細胞診の自動化判定に関する研究班（委員長 森谷卓也）

〔報告事項〕

1. 研究自体は，平成 26 年度に修了．昨年の第 56 回春期大会にて研究成果の発表を行って，ワーキンググループは解散した．現在，論文作成中である．

〔審議事項〕

特になし

細胞診用語解説集作成ワーキンググループ（委員長 竹島信宏）

〔報告事項〕

1. 電子媒体での用語解説集作成を目指している．
2. 細胞診用語解説追加分の再確認作業の実施．
松江の春期大会中の委員会で細胞診ガイドラインと用語解説集を照らし合わせ，追加用語のリストアップ．
3. 担当領域は担当領域別に 4 班に分かれて編集作業を進めている．
4. 編集作業終了後，作成した細胞診用語解説集は，理事全員の確認をとり HP 上に UP する予定である．

〔審議事項〕

特になし

細胞診専門医制度改革推進ワーキンググループ（委員長 植田政嗣）

〔報告事項〕

1. 細胞診専門医制度について通信委員会にて討議中．結果は理事会にて報告予定．
2. 日本専門医機構にて専門医制度のヒアリングを行われた．グループ長他 3 名にて参加した．

〔審議事項〕

特になし

10. 審議事項および議決結果

審議事項

- 1 第59回平成29年(2017年)春期大会長選出について
- 2 平成29・30年度の評議員選出委員会および役員選出スケジュール日程について

議事の経過の概要および議決結果




- 1 第59回平成29年(2017年)春期大会長選出について
齋藤豪理事が推薦され、全員一致で承認された。
- 2 平成29・30年度の評議員選出委員会および役員選出スケジュール日程について
平成29・30年度評議員選出委員会委員長を佐藤之俊副理事長とする評議員選出委員会の構成案が提示され、承認された。さらに、平成29・30年度役員選挙のスケジュールの日程案が提示され、承認された。

閉会の挨拶：青木大輔理事長

以上を以って本理事会の議題が終了し、平成27年度第3回理事会を終了した。

平成28年1月13日

この議事録が正確であることを証します。

理事長	青木大輔	
監事	長谷川壽孝	
監事	長村秀之	
監事	佐々木寛	